

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月13日 (2008.3.13)

【公開番号】特開2002-232834(P2002-232834A)

【公開日】平成14年8月16日 (2002.8.16)

【出願番号】特願2001-25801(P2001-25801)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/781 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/91 Z

G 1 1 B 20/10 3 1 1

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/781 5 1 0 C

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月29日 (2008.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録装置及び方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体を撮影して動画像信号を出力する撮像手段と、
前記撮像手段から出力された動画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、
前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示手段と、
前記記録開始の指示より第 1 の所定期間前から前記記録終了の指示より第 2 の所定期間
後までの間に前記撮像手段から出力された動画像信号を一つのテイクとして記録するよう
前記記録手段を制御する制御手段と、
前記記録手段による前記動画像信号の記録動作に応じて、前記一つのテイクにおいて前
記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生する
よう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデー
タを生成する生成手段とを備えることを特徴とする記録装置。

【請求項 2】 前記制御手段は、前記記録開始の指示より第 1 の所定期間前から前記
記録開始の指示までの間に前記撮像手段から出力された先行動画像信号と、前記記録終了
の指示から前記記録終了の指示より第 2 の所定期間後までの間に前記撮像手段から出力さ
れた後続動画像信号と、前記記録開始指示から記録終了指示までの間に前記撮像手段から

出力された本動画像信号とを、前記一つのテイクとして記録するよう前記記録手段を制御し、

前記生成手段は、前記記録手段による前記動画像信号の記録動作に応じて、前記一つのテイクのうち前記本動画像信号の先頭から最後までを再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成することを特徴とする請求項 1 記載の記録装置。

【請求項 3】 前記記録媒体に記録された複数の前記テイクの動画像信号を再生する再生手段を備え、

前記再生手段は、前記記録媒体から連続して二つの前記テイクを再生する場合に、前記二つのテイクのうち先に再生されるテイクの後続動画像信号と後に再生されるテイクの先行動画像信号とを用いてエフェクト画像信号を生成することを特徴とする請求項 2 記載の記録装置。

【請求項 4】 前記第 1 の所定期間分の動画像信号を記憶可能であって前記撮像手段から出力された動画像信号を記憶するメモリを備え、

前記記録手段は前記記録開始の指示の時点で前記メモリに記憶されている前記第 1 の所定期間分の動画像信号を前記記録開始の指示に応じて読み出し、前記記録媒体に記録することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】 前記記録終了指示の後、前記後続動画像信号の記録状態である旨の情報を表示する表示手段を備えたことを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 6】 入力された動画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、

前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示手段と、

前記記録開始の指示から記録終了の指示までの間に入力された動画像信号を含む動画像のテイクを記録するよう前記記録手段を制御する制御手段と、

一つの前記テイクが前記記録媒体に記録されたことに応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成手段とを備え、

前記生成手段は、前記動画像のテイクが前記記録媒体に記録されると、前記記録媒体に記録された複数のテイクの動画像信号を前記記録媒体に記録された順番で連続して再生するよう動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成することを特徴とする記録装置。

【請求項 7】 被写体を撮影して動画像信号を出力する撮像ステップと、

前記撮像ステップで出力された動画像信号を記録媒体に記録する記録ステップと、

前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示ステップと、

前記記録ステップにおいて、前記記録開始の指示より第 1 の所定期間前から前記記録終了の指示より第 2 の所定期間後までの間に前記撮像ステップで出力された動画像信号を一つのテイクとして記録するように制御する制御ステップと、

前記記録ステップで前記動画像信号の記録動作に応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成ステップとを備えることを特徴とする記録方法。

【請求項 8】 入力された動画像信号を記録媒体に記録する記録ステップと、

前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示ステップと、

前記記録ステップにおいて、前記記録開始の指示から記録終了の指示までの間に入力された動画像信号を含む動画像のテイクを記録するように制御する制御手段と、

一つの前記テイクが前記記録媒体に記録されたことに応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成ステップとを備え、

前記生成ステップにおいて、前記動画像のテイクが前記記録媒体に記録されると、前記記録媒体に記録された複数のテイクの動画像信号を前記記録媒体に記録された順番で連続して再生するよう動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成することを特徴とする記録方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、記録装置及び方法に関し、特に、動画像を撮影して記録媒体に記録する記録装置及び方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明はこのような問題点に鑑みてなされたものであって、クロスフェード等のシーンチェンジェフェクトを掛けた場合でも、録画開始操作時点から録画終了操作時点までの期間に記録された映像が不鮮明になることなく再生されるようにした記録装置及び方法を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1記載の記録装置は、被写体を撮影して動画像信号を出力する撮像手段と、前記撮像手段から出力された動画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示手段と、前記記録開始の指示より第1の所定期間前から前記記録終了の指示より第2の所定期間後までの間に前記撮像手段から出力された動画像信号を一つのテイクとして記録するよう前記記録手段を制御する制御手段と、前記記録手段による前記動画像信号の記録動作に応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、請求項6記載の記録装置は、入力された動画像信号を記録媒体に記録する記録手段と、前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示手段と、前記記録開始の指示から記録終了の指示までの間に入力された動画像信号を含む動画像のテイクを記録するよう前記記録手段を制御する制御手段と、一つの前記テイクが前記記録媒体に記録されたことに応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指

示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成手段とを備え、前記生成手段は、前記動画像のテイクが前記記録媒体に記録されると、前記記録媒体に記録された複数のテイクの動画像信号を前記記録媒体に記録された順番で連続して再生するよう動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成することを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

さらに、請求項7記載の記録方法は、被写体を撮影して動画像信号を出力する撮像ステップと、前記撮像ステップで出力された動画像信号を記録媒体に記録する記録ステップと、前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示ステップと、前記記録ステップにおいて、前記記録開始の指示より第1の所定期間前から前記記録終了の指示より第2の所定期間後までの間に前記撮像ステップで出力された動画像信号を一つのテイクとして記録するように制御する制御ステップと、前記記録ステップで前記動画像信号の記録動作に応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成ステップとを備えることを特徴とする。

請求項8記載の記録方法は、入力された動画像信号を記録媒体に記録する記録ステップと、前記動画像信号の記録開始と記録終了を指示する指示ステップと、前記記録ステップにおいて、前記記録開始の指示から記録終了の指示までの間に入力された動画像信号を含む動画像のテイクを記録するように制御する制御手段と、一つの前記テイクが前記記録媒体に記録されたことに応じて、前記一つのテイクにおいて前記記録開始が指示された位置から記録終了が指示された位置までの動画像信号を再生するよう前記記録媒体に記録された動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成する生成ステップとを備え、前記生成ステップにおいて、前記動画像のテイクが前記記録媒体に記録されると、前記記録媒体に記録された複数のテイクの動画像信号を前記記録媒体に記録された順番で連続して再生するよう動画像信号の再生手順を制御するためのプレイリストデータを生成することを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

【発明の効果】

以上詳述したように、本発明によれば、クロスフェード等のシーンチェンジエフェクトを掛けた場合でも、録画開始操作時点から録画終了操作時点までの期間に記録された映像を不鮮明になることなく再生することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 7 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】符号の説明
【補正方法】変更
【補正の内容】

【符号の説明】

1 0 1 レンズ
1 0 2 撮像素子
1 0 3 カメラ信号処理部
1 0 4 画像メモリ
1 0 5 操作スイッチ
1 0 6 ディスプレイ
1 0 7 画像処理部
1 0 8 動画圧縮解凍回路
1 0 9 ハードディスク
1 1 0 インターフェース
1 1 1 CPU
1 1 2 プログラムメモリ
1 1 3 プログラムフラッシュメモリ